

令和7年10月14日

報道機関 各位

一 膵がん治療の進化と、若手外科医の育成の両立を実現させるー
富山大学附属病院 消化器・腫瘍・総合外科／膵臓・胆道センターの
クラウドファンディングは、第二目標に挑戦します！

富山大学附属病院（病院長：山本善裕）は、令和7年9月8日（月）から、日本初・国内最大級のクラウドファンディングサービス「READYFOR」において、「膵がん治療の開発」と「消化器外科医の育成」、医療の未来を支えるこれら2つの挑戦への財源確保を目標にクラウドファンディングを実施しております。多くの方々からご支援をいただいております。心より感謝申し上げます。

この度、第一目標として掲げておりました1,000万円を達成し、引き続き、第二目標である2,000万円を目指すこととなりました。

第二目標（2,000万円）に向けていただくご寄付は、膵がん治療の進化と若手外科医の育成の両立に向けて、おもに若手外科医のための研究活動支援費用・膵がん研究の実験費用・臨床研究に関する人的支援費用等に活用いたします。

引き続きご寄付・応援のほど、よろしくお願い申し上げます。

（本件に係る記者会見等はございません。）

■ クラウドファンディングの概要

プロジェクト名

「医療の未来を守り、育てる。膵がん治療の開発・力ある若手外科医の育成」

実行者 藤井 努（富山大学附属病院 消化器・腫瘍・総合外科教授／膵臓・胆道センター センター長）

目標金額 （第一目標金額）1,000万円 ※達成
（第二目標金額）2,000万円 ※挑戦中

資金使途 膵がん治療の開発・消化器外科医の育成（■プロジェクトの詳細を参照）

募集期間 令和7年9月8日（月）9:00 ～ 令和7年12月5日（金）23:00

支援募集ページ URL <https://readyfor.jp/projects/toyama-surgery2>

形式 寄附金控除型 / All in 方式 ※

※ 本クラウドファンディングへのご寄附は富山大学へのご寄附となり、税制上の優遇措置が受けられます。また、目標金額の達成の有無にかかわらず寄附金を受け取ります。



■ プロジェクトの詳細

日本で毎年4万人以上が死亡する極めて予後不良ながん、膵がん。いまだに有効な治療が見つかっておらず、この分野の研究は急務です。

また、膵がんの根治の鍵を握るのは、高度な外科手術です。一方、若手医師の消化器外科志望者は減少しており、現役の消化器外科医は、今後20年で現在の半数にまで急速に減少すると予測されています。

がんになっても、手術を行う医師がいない — これは、今後の日本の医療において予測される非常に深刻な課題です。このままの状況が続けば、近い将来、がんの手術や治療の開発を担う人材がいなくなってしまうことに、私たちは強い危機感を抱いています。

本クラウドファンディングにより皆様からいただくご寄附は、私たちの取り組んでいる、「膵がん治療の開発」「消化器外科医の育成」これら2つの大きな挑戦のために活用いたします。医療の未来を支えるために、ぜひ温かいご寄附をお願い申し上げます。

第一目標金額 1,000万円

- 膵がんに関する臨床研究運営費用 250万円
- 若手外科医のための
手術関連機器・手術指導費用 400万円
- 若手外科医リクルートの動画、
ホームページ等作成費 50万円
- その他、クラウドファンディング手数料、大学管理費を含む



第二目標金額 2,000万円

- 若手外科医のための
研究活動支援費用 200万円
- 膵がん研究の実験費用 200万円
- 臨床研究に関する
人的支援費用 200万円
- その他、クラウドファンディング手数料、大学管理費を含む

膵がん治療の進化と 若手外科医の育成の両立を実現させる

私たちは上述のような取組みを現在も積極的に行っています。しかし、こうした取組みを維持・発展させるためには公的資金だけでは不十分であり、**機器整備・研究支援・人材育成のための財源確保が急務**となっています。

膵がん治療の進化と若手外科医の育成を両立させ、技術ある外科医が育ち、治療成績の向上が実現されれば、救える命は確実に増えます。これは決して富山県内だけの話ではなく、日本における膵がん治療の発展にもつながります。国内留学者を含めた若手外科医の育成により、全国的な外科医療の未来の発展にも貢献できるものです。

【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学附属病院 病院企画課 塩野・土肥

TEL : 076-434-7101・7105 Email : hosoum@adm.u-toyama.ac.jp